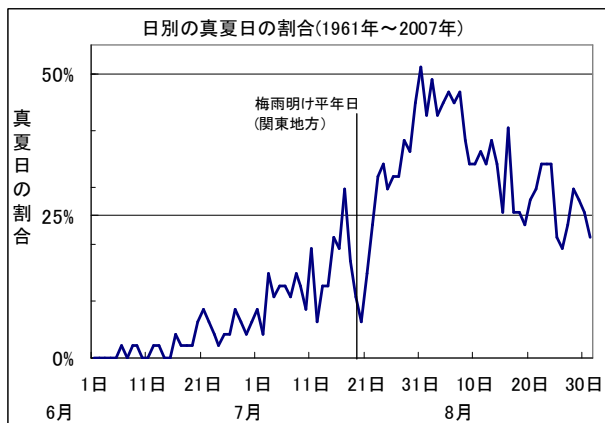


**盛夏へ**

平年では7月の中旬まで雨の季節（梅雨）が続きます。しかし、小中学校が夏休みに入るころになると暑い夏がはじまります。

日の最高気温が30℃以上になった日を真夏日といいますが、日立市役所における、過去47年間の6月から8月の真夏日の割合を日別に調べてみると、7月中旬までは20%前後ですが、梅雨明けの平年日を過ぎた、7月23日以降は30%を超え、7月31日に51%とピークを迎えたあと、8月上旬以降は徐々に割合が減り、中旬には30%台となります（7月31日は、過去47年中半分以上の24年で真夏日を観測しました）。

また、梅雨明けの前後で真夏日の日数を比べてみると、過去47年間の真夏日947日のうち、実に86%に及ぶ816日が梅雨明け後に観測されています。



関東地方の梅雨明けの平年日は7月20日です。このころから8月上旬にかけて、1年のうちで最も暑い時期にあたります。

梅雨が明け急に気温が上昇すると、体が暑さに慣れていないこともあり、熱中症の危険が高くなります。帽子や日傘などで日陰を作ったり、水分をこまめにとるなどの注意が必要です。

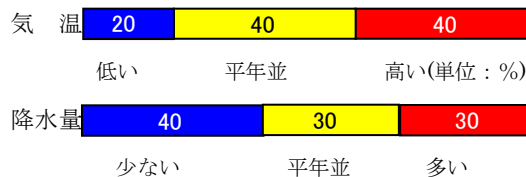
**【7月の暦と気象記録】**

- 7日、小暑（暑さがだんだん強くなるころ）
- 22日、大暑（暑さが最も厳しくなるころ）
- 1997年7月5日：日最高気温38.5℃  
(観測記録順位第1位、  
日本海の前線によるフェーン現象)
- 1962年7月14日：1時間降水量60.7mm  
(寒冷前線による雷雨)

**【関東甲信地方の7月の予報】**

季節予報では、天気は平年と同様に、前半は曇りや雨の日が多く、後半は晴れの日が多いでしょう。気温は平年並から高いと、降水量は平年より少ない可能性が高いと予想されます。

7月の気温、降水量の階級確率(%)



7月の気象観測値(日立市役所)

項目	2007年	平年値
平均気温(℃)	21.6	22.9
降水量(mm)	330.0	142.4
日照時間(時間)	104.2	136.2

平年値(1971～2000年の30年間の平均)

※日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso>  
行政放送(ケーブルテレビ5ch)でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話22-5520 IP電話050-5528-5066へどうぞ。